

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	横浜薬科大学
設置者名	都築第一学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
薬学部	漢方薬学科	夜・通信	11.5	124.5	136.5	19		
	臨床薬学科	夜・通信						
	健康薬学科	夜・通信						
	薬科学科	夜・通信	9.5	88.0	97.5	13		
(備考) 漢方・臨床・健康薬学科は6年制、薬科学科は4年制								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学HPに掲載、シラバスに記載(全学生に配布)(WEBシラバス) 情報公開 大学概要 横浜薬科大学 薬学部 (hamayaku.ac.jp)

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名 なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	横浜薬科大学
設置者名	学校法人都築第一学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

[令和2年度事業報告書 \(hamayaku.ac.jp\)](http://hamayaku.ac.jp)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	代表取締役会長	2020.12.1 ～ 2022.11.30	経営・管理
非常勤	コンサルティング 事務所代表取締役	2020.12.1 ～ 2022.11.30	広報
(備考) 上記理事は評議員から選任された理事で、ここに示した任期は評議員の任期とした。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	横浜薬科大学 薬学部
設置者名	都築第一学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEB シラバス作成過程 ① 当該年度の教育科目表を決定、教務部副部長がシラバス作成説明会を実施 ② シラバスの作成ガイドラインに基づき、提出期限を各科目担当教員に明示 ③ WEB による入稿～校了、入力状況のチェック、未入稿シラバスの指導 ④ 前年度の3月にWEB シラバス完成 ・シラバスの作成、公表時期 ① シラバスは、前年度の11月～3月初旬にかけて作成 ② 公表時期は、各学年履修ガイダンス時 	
授業計画書の公表方法	<p>大学HPに公表 シラバス関連資料 横浜薬科大学シラバス 2021 (hamayaku.ac.jp)</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバスの評価方法に基づき、各科目の成績の評価は、優、良、可、不可の評語をもって表し、不可は不合格とする。 可以上を合格とし、その合格科目には次年度への進級が年度末において決定したとき、卒業が決定したとき、又は、退学が決定したときに所定の単位を与える。 ・単位認定の方針 大学HPに公表 シラバス関連資料 横浜薬科大学シラバス 2021 (hamayaku.ac.jp) 	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 客観的な指標(指標の算出方法)について 前期・後期のすべての履修科目点数の平均点をもって、各年次とも席次を算出 	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>大学 HP に公表 シラバス関連資料 横浜薬科大学シラバス 2021 (hamayaku.ac.jp)</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業認定に係わる具体的な内容 <ul style="list-style-type: none"> ① 健康薬学科、漢方薬学科、臨床約学科では、6 年以上在学し、学則に定める単位数を修得した学生 ② 薬科学科においては、4 年以上在学し、学則に定める単位数を修得した学生 卒業認定に関する方針の適切な実施状況 修業年限以上在学し、所定の授業科目及び単位数を修得した者について、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を許可する。 	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>大学 HP に公表 大学の 3 つの方針 大学概要 横浜薬科大学 薬学部 (hamayaku.ac.jp) シラバス関連資料 横浜薬科大学シラバス 2021 (hamayaku.ac.jp)</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	横浜薬科大学
設置者名	学校法人 都築第一学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	令和2年度決算書 (hamayaku.ac.jp) 学内掲示板に掲示
収支計算書又は損益計算書	〃
財産目録	〃
事業報告書	令和2年度事業報告書 (hamayaku.ac.jp) 学内掲示板に掲示
監事による監査報告(書)	令和2年度決算書 (hamayaku.ac.jp) 学内掲示板に掲示

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 自己点検・評価 情報公開 大学概要 横浜薬科大学 薬学部 (hamayaku.ac.jp)
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 大学評価結果について 情報公開 大学概要 横浜薬科大学 薬学部 (hamayaku.ac.jp)

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 薬学部
教育研究上の目的（公表方法： 教育研究上の目的 大学概要 横浜薬科大学 薬学部 (hamayaku.ac.jp))
（概要）学則第 1 条に『建学の精神である「個性の伸展による人生練磨」を教育理念とし、広く知識を受けるとともに、深く薬学に関する学術を研究教授し、臨床に関わる実践的能力を持つ人間性豊かな薬剤師および薬学の専門知識と技術を備えた医薬品開発関連等の研究者・技術者を育成することを目的とする。これにより、学術の深化と人類の福祉に貢献することを使命とする。』と謳っています。また、三つの方針の前文にも記述しています。
卒業の認定に関する方針（公表方法： 大学の 3 つの方針 大学概要 横浜薬科大学 薬学部 (hamayaku.ac.jp))
（概要） 6 年制：健康薬学科・漢方薬学科・臨床薬学科 6 年間以上在籍し、本学科の教育目標に沿って編成された授業科目を履修し、以下に記した能力及び姿勢に加え、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、学士（薬学）の学位を授与します。①学共通のカリキュラムの多面的履修を通して、基礎的な学習能力を養うとともに、人間・社会・自然に対する理解を深め、薬学専門領域を超えて問題を探求する姿勢を身に付けていること。②学科・専攻における体系的な学習と学科を横断する学際的な実務実習・卒業論文研究等を通し、少子 高齢化した現代の多様な課題を発見、分析、解決する能力を身に付けていること。③6 年間にわたる「講義」、「演習」での学びや、卒業論文等の作成を通して、知識の活用能力、論理的思考力、課題探求力、表現能力、弱者の気持ちを理解したコミュニケーション能力を統合する力を身に付け、自ら個性の伸展を図れること。④それぞれの学科においては、①～③とともに薬剤師の基本的な資質に加えて、各学科独自の以下の専門性を身に付けていること。 4 年制：薬科学科 4 年間以上在籍し、「人類の健康と福祉に貢献し先端医療を支える高度な知識と技術を備えた研究者・技術者の育成」という、本学科の教育目標に沿って編成された授業科目を履修し、以下に記した能力及び姿勢に加え、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、学士（薬科学）の学位を授与します。①医療に関わるための広い教養を身に付け、高い倫理観と使命感を培っていること。②医薬品開発などの研究に必要な基礎的知識と技術を身に付けていること。③研究者として必要となるコミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力を身に付けていること。④薬の創製や人類の健康に携わる研究者・技術者として自立心と向上心、探究心、広く社会に貢献する 意欲を身に付けていること。⑤自ら設定した研究課題に対して、最先端の医療知識や科学的知識を取り入れ、適切な手法を選択した 上で、問題解決に導く方法を身に付けていること。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： 大学の 3 つの方針 大学概要 横浜薬科大学 薬学部 (hamayaku.ac.jp))
（概要） 6 年制：健康薬学科・漢方薬学科・臨床薬学科 薬学教育モデル・コアカリキュラムに基づく 6 年制一貫の教育においては、低学年における導入教育、一般教養教育、早期体験学習などの基礎教育に始まり、学年進行に伴い高度な薬学専門教育を順次性をもって履修できるよう配置されています。また、病院・薬局における実務実習、卒業研究及び課題解決型講義など自ら課題を発見し問題解決を実行できる力、自ら自己研鑽できる力及びコミュニケーション力を育成する科目に加え、より専門性の高い薬剤師教育を目指すため、それぞれの学科においては、以下のような特色ある教育課程を提供しています。成績評価は、科目の特性に応じて適切かつ多様な評価 方法を設けています。

<p>4年制：薬科学科</p> <p>薬科学科の4年制教育においては、低学年における導入教育、一般教養教育、早期体験学習などの基礎教育に始まり、学年進行に伴い高度な薬学専門教育を順次性を持って履修できるよう配置しています。</p> <p>また、研究者・技術者育成のための実習、卒業研究及び課題解決型講義など自ら課題を発見し問題解決を実行できる力、自己研鑽できる力、及びコミュニケーション力を育成する科目に加え、より専門性の高い人材教育を目指します。</p> <p>成績評価は、科目の特性に応じて適切かつ多様な評価方法を設けています。</p> <p>医療・薬学を取り巻く科学と技術の進歩の中で、医薬品の有効性・安全性を確保するための創薬研究、再生医療・遺伝子治療などの新たな医療技術の開発等、社会の要望に応じられる研究者・技術者を育成するための薬学専門領域に関する教育課程にしています。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法： 大学の3つの方針 大学概要 横浜薬科大学 薬学部 (hamayaku.ac.jp))</p>
<p>(概要)</p> <p>6年制：健康薬学科・漢方薬学科・臨床薬学科</p> <p>入学試験にあたっては学力だけではなく、以下のような資質と意欲を持つ入学者を受け入れたいと考えています。①本学の建学の精神である「個性の伸展による人生練磨」を理解し、将来、薬剤師として医療に貢献する情熱を持つ人 ②人々の健康や薬の適正使用に関心を持ち、医療や健康に関わる分野での活躍を強く望む人③薬学を修めようという強い決意と意欲を備える人 ④それぞれの学科においては①～③に加え、健康薬学科においては運動・食・健康を基に、人の健康の維持や増進を考え、地域の医療や疾病の予防に貢献したいと思う人、漢方薬学科においては漢方薬の知識を修め、医療に寄与することを重視し、実践したいと思う人、臨床薬学科においてはチーム医療で、専門的な薬物治療に関する能力や個々の疾患の特殊性に対応したいと思う人</p> <p>4年制：薬科学科</p> <p>建学の精神に基づく教育理念と目標を達成するために、入学試験にあたっては学力だけではなく、以下のような資質と意欲を持つ入学者を受け入れたいと考えています。①本学の建学の精神である「個性の伸展による人生練磨」を理解し、薬学関連の研究分野で国際的に活躍したい人 ②人類の健康を守ることを通じて社会に貢献しようとする志と、より高度な専門知識を身につけようとする意欲のある人 ③自立心旺盛で勉学と研究意欲に溢れ、先端医療を支える薬学研究者として、将来、我が国のみでなく、国際的に活躍しようとする意欲のある人 ④論理的な思考を通して自ら問題点を見出し、解決し、新しい方法論の開拓に挑戦したい人</p>

② 育研究上の基本組織に関すること

公表方法： 情報公開 大学概要 横浜薬科大学 薬学部 (hamayaku.ac.jp)

③ 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
薬学部	—	55人	24人	15人	9人	4人	107人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
2人		16人					18人

各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)	公表方法： 教員紹介 大学概要 横浜薬科大学 薬学部 (hamayaku.ac.jp)
c. F D (ファカルティ・ディベロップメント) の状況 (任意記載事項)	

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
薬学部 (6年制)	340人	355人	104.4%	2,040人	2,307人	113.1%	人	人
薬学部 (4年制)	30人	28人	93.3%	120人	133人	110.8%	人	人
合計	370人	383人	103.5%	2,160人	2,440人	113.0%	人	人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
薬学部 (6年制)	325人 (100%)	0人 (0%)	186人 (57.2%)	139人 (42.8%)
薬学部 (4年制)	31人 (100%)	15人 (48.4%)	15人 (48.4%)	1人 (3.2%)
合計	356人 (100%)	15人 (4.2%)	201人 (56.5%)	140人 (39.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> シラバスの作成、公表時期 <ol style="list-style-type: none"> シラバス及び年間の授業計画は、前年度の11月～3月初旬にかけて作成 各学年履修ガイダンス時に公表

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> シラバス記載の評価方法に基づき、各科目の成績の評価は、優、良、可、不可の評語をもって表し、不可は不合格とする。 可以上を合格とし、その合格科目には次年度への進級が年度末において決定したとき、卒業が決定したとき、又は、退学が決定したときに所定の単位を与える。 卒業認定に係わる具体的な内容 <ol style="list-style-type: none"> 健康薬学科、漢方薬学科、臨床薬学科では、6年以上在学し、学則に定める単位数を修得した学生 薬科学科においては、4年以上在学し、学則に定める単位数を修得した学生 卒業認定に関する方針の適切な実施状況 修業年限以上在学し、所定の授業科目及び単位数を修得した者について、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を許可する。
--

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
薬学部 (6年制)	漢方薬学科	189 単位	有・無	単位
	臨床薬学科	189 単位	有・無	単位
	健康薬学科	189 単位	有・無	単位
薬学部 (4年制)	薬科学科	124 単位	有・無	単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： キャンパスマップ/施設紹介 大学概要 横浜薬科大学 薬学部 (hamayaku.ac.jp)
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
薬学部	健康薬学科	1,900,000 円	400,000 円	50,000 円	
	漢方薬学科	〃 円	〃 円	〃 円	
	臨床薬学科	〃 円	〃 円	〃 円	
	薬科学科	1,500,000 円	400,000 円	50,000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師以上の教員による「指導担任制」を設けている。1人の教員が1～4年次に在籍する各学年6人程度の学生の担任として、修学面や生活面での学生支援を行っている。5、6年次学生は、研究室に所属していることから、所属研究室の（主任）教員が指導担任となる。 ・HAMAYAKU e-Learning システムにおいて、全学年を対象としたWEB授業実施しており、授業内容に関する質問には、薬学教育センターに質問ルームを設置し、専門の教員を配置し、個別の質問に対応している。また、授業担当教員へ直接質問できる時間は、オフィスアワーとしてシラバスに明示されており、それ以外の時間帯でも教員は可能な限り対応することとしている。 <p>研究室・教育研究センター 研究・社会連携 横浜薬科大学 薬学部 (hamayaku.ac.jp)</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>学生の就職支援は、厚生委員会が企画・立案し、学生の配属研究室の教員が学生と相談して就職状況等を把握しています。厚生委員会の計画に基づき、キャリアセンターは、学生主体の就職活動が円滑に進行するように学生および教員を支援しています。キャリアセンターでは、以下のサポートを行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職に必要な各種イベントを開催 ・個別の進路相談 ・企業等の情報提供 ・インターンシップの紹介 <p>進路・就職 横浜薬科大学 薬学部 (hamayaku.ac.jp)</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスケアを目的とした医務室を設置し、医師2名、看護師2名が常勤して対応している。学生が利用しやすくするために、医務室は事務センター出入り口にあり、また看護師は、事務職の応援を求めやすい環境にある。病院での手当てを必要とする場合は、救急搬送するための緊急連絡体制を整えている ・インフルエンザをはじめとする感染症や食中毒などの季節ごとに注意すべきことを学内に掲示することによって、学生自身の健康管理の意識向上を図っている。 ・メンタルケアを目的とした学生相談室を設置し、臨床心理士、常勤の医師、看護師および専任教員の学生相談員が精神的な問題や人間関係の悩みを抱えている学生の相談に対応している。 ・これらの設備については、学内に掲示し、さらに入学生へのオリエンテーションおよび在学生へのガイダンスの際に説明している。 ・本学は、講師以上の教員による「指導担任制」を設けている。本制度は、修学面だけではなく生活面も含む学生生活を支援するシステムである。 ・全学生に対して毎年4・5月に学内で定期健康診断を実施している。未受診学生に対しては、他の医療機関での受診を指導している。また実務実習に先立ち、4年次生全員を対象として、5月に抗体検査を実施している。また、抗体が陰性の場合、ワクチン接種を促している。 <p>公表方法：大学HPに掲載（学生生活について ・学生生活サポート）、学生便覧に記載（全学生に配布）</p> <p>学生生活 横浜薬科大学 薬学部 (hamayaku.ac.jp)</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：情報公開 大学概要 横浜薬科大学 薬学部 (hamayaku.ac.jp)</p>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F114310104712
学校名	横浜薬科大学
設置者名	学校法人都築第一学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		185人	175人	190人
内 訳	第Ⅰ区分	101人	102人	
	第Ⅱ区分	50人	47人	
	第Ⅲ区分	34人	26人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				190人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	16人	該当なし	該当なし
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	※	該当なし	該当なし
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	該当なし	該当なし
「警告」の区分に連続して該当	0人	該当なし	該当なし
計	16人		
(備考) ※「修業年限で卒業又は修了できないことが確定」した16人の内数で記載しています。			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	0人	前半期 該当なし	後半期 該当なし

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人	該当なし	該当なし
GPA等が下位4分の1	0人	該当なし	該当なし
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	該当なし	該当なし
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。